

# 図書だより 卒業おめでとう号

2024年2月 三島高等学校 図書委員会

## 卒業生に読んでほしい本

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。3年学年団の先生方から、「卒業生に読んでほしい本」を紹介していただきました。先生方の顔を思い浮かべながら、ぜひ読んでみてください。♪♪

### 五味 むつみ先生 (学年主任)

興味のあるジャンルで構わないので、「新書」を読んでみてください。  
まず最初は、気になるタイトルのものを選ぶと良いと思います。読み切れなかったら、次の本にチェンジでOKです。難しいものではなく、筆者の主張がなんとなくでも理解できる方が読めるし面白いと思います。「ちくまプリマー新書」や「岩波ジュニア新書」のようなわかりやすいものから始めると良いかも。さあ、図書室へ行ってみよう！

### 川村 千尋先生 (301 担任) / 『きみの友だち』 重松 清

読んだことがある人もいないのではないのでしょうか。少年少女たちの学生時代を舞台にした短編集です。SNS で四六時中、誰とでもつながることができるのは、便利な一方で、息苦しさを感じている人もいないかと思えます。複雑で、時に理不尽で不条理なこともある人間関係の揺らぎを通して、本当の友達とは何かを考えさせてくれる本です。本校を巣立っていく皆さん、これから新しい季節を迎え、多くの人との別れと出会いがあることでしょう。『きみの友だち』はどんな人ですか？



### 尾崎 信也先生 (301 副担任) / 『項羽と劉邦』 司馬 遼太郎

楚漢戦争期を舞台とした、司馬遼太郎の歴史小説です。  
項羽と劉邦の他者に対する対応や関係性から、人間関係の大切さや、リーダーに必要な社会性やその心得について考えさせられました。  
これからの人生でたくさんのお会いがあると思います。本についても同様に。それらの出会いを大切に、全力で人生を楽しんでください。



### 新田 涼平先生 (302 担任) / 『1%の努力』 ひろゆき

私が紹介する本は、匿名掲示板2ちゃんねる創設者ひろゆき氏の人生において「どこ」が頑張りどころだったのか、人生のターニングポイントでどんな判断をしてきたのか「考え方の考え方」をテーマにした本です。私の母校、和歌山北高等学校に以前勤められていた野村豊和先生(1972年ミュンヘンオリンピック柔道金メダリスト)が「ひらめきは3倍はやく強くなる」という言葉をよく部活生達に伝えていました。私はこの言葉が大好きで、高校からフェンシングを始めた私は早く強くなりたい一心でこの言葉を胸に日々練習に取り組んでいました。今でもこの言葉を自分の中でいろんな解釈をして様々なことに取り組んでいます。



また、ひろゆき氏もこの本で「天才とは99%の努力と1%のひらめきであるというエジソンの名言をみんな誤解している。本当は1%のひらめきがなければ99%の努力は無駄である」と言っています。どんなことをするにしても、まずは考え、ひらめくことが大切だと皆さんにも知ってほしいです。読みやすく、すごく面白いのでぜひ読んでください！

### 福井 聡先生 (302 副担任) / 『こゝろ』 夏目漱石

高校の教科書(現代文B)に掲載されている漱石の『こゝろ』は、(上・中・下)の「(下)の一部」にすぎません。ぜひ、『こゝろ』という作品の全文を読破してください。例えば、(上)の一場面「先生」が「私」に対して「恋」について意見するセリフがあります。



「然(しか)し君、恋は罪悪ですよ。解(わか)つてみますか」  
「気を付けないと不可(い)けない。恋は罪悪なんだから」  
「とにかく恋は罪悪ですよ。よござんすか。さうして神聖なものですよ」  
実に強烈なセリフですね！

では、なぜ漱石は「恋は罪悪」と考えたのでしょうか？それは、漱石自身が「恋」というものを知らなかった(経験がなかった)からではないのでしょうか。だとすれば、「恋」がどんなものか、「恋のプロ」森鷗外に教えてもらったらいいのに、と私は思います。

### 神田 明典先生 (303 担任) / 『桜のような僕の恋人』 宇山 佳佑

～美容師の美咲に恋をした晴人。彼女に認めてもらいたい一心で、一度は諦めたカメラマンの夢を再び目指すことに。そんな晴人に美咲も惹かれ、やがて二人は恋人同士になる。しかし、幸せな時間は長くは続かなかった。美咲は、人の何十倍もの早さで年老いる難病を発症してしまったのだ。老婆になっていく姿を晴人にだけは見せたくないと悩む美咲は……。きっと、涙が止まらない。桜のように儂く美しい恋の物語 (Amazon から引用)～



2022年Netflix映画で映像化された作品なのですが…見た人いますか？本を読んでから、映像を見た派なのですが、どちらも感動します。本当にある病気であるウェルナー病…以外に世界で報告された症状の3分の2が日本人の難病です。同じ時間を過ごしながらも、同じ年を重ねられない辛さが伝わってきて、切なくなります。Netflix映画のエンディング Mr.Childrenの「永遠」が最高なのでぜひに！



### 大西 裕美先生 (303 副担任) / 『夢をかなえるゾウ 1』 水野 敬也

「お前なあ、このままやと2000%成功でけへんで。」というセリフでおなじみの本です。大人になる前に、いえ、大人になってからでも1度は読んでおきたい本の一冊です。このシリーズは5冊発行されていますが、1が特にお勧めです。“くせの強い”ガネーシャの言葉が心地よく突き刺さります。夢をかなえるには、、、今までの視点を変えてみるきっかけになります。そして、新しい自分に出会えます。



源代 貴臣先生 (304 担任) / 『レヴォリューション No.3』 金城 一紀

10代のうちに読んでもらいたい、痛快で爽やかな青春小説です。短編集で読みやすく、読後スカッとします。今でもたまに読み返します。続編の「フライ、ダディ、フライ」もおすすめです。いい本と出会い、心を豊かにして、これからも頑張ってください。



高橋 広美先生 (304 副担任) / 『風が強く吹いている』 三浦 しをん

故障のために一度は走ることを諦めた灰二が、走と出会い、素人の仲間達を巻き込んで、箱根駅伝を目指す物語。十人の魅力的なメンバーが、それぞれの思いを抱えながら、自分の限界に挑戦し、それぞれのゴールを目指して走ります。



それぞれの頂点を目指し、「強く」。  
「だれもが、それぞれの悩みに直面し、なしとげられないとわかっているもがいている。」  
「どこへ行っても同じならば、踏みとどまって、自分の心が希求することをやり通すしかない。」  
うん、うん。読み進めながら心の中で頷きます。走ることはもちろん、箱根駅伝にもまるで興味のなかった私がひきこまれ、心が揺さぶられました。迷ったとき、行き詰った時に、背中を押してくれる一冊です。

今井 諒先生 (305 担任) / 『人生が変わる哲学の教室』 小川 仁志

「私はこの本を読んで人生が変わりました！」なんて通販みたいな紹介をするつもりはありませんが、「私が悩んでたことって、昔の人も悩んでたんだなあ」と高校時代勉強していた内容の「面白さ」に気づくヒントがもらえる本だと思います。内容は、過去の思想家たちが教室に教師として登場し、現代の様々な年齢層の人たちが問いかけていく授業スタイルです。「生と死」「他人」「お金儲け」「仕事」「恋愛」「自由」…様々なテーマについて、思想家の解説と現代人のエピソードが織り交ぜながら、読んでいる自分も「うーん」と悩みながらちょっとずつ読んでみるのがおすすめです。話の中で出てくる映画も面白いものが多いので、私は余計時間がかかりました。読みやすいけど読み応えのある本だと思います。



篠原 奈津季先生 (305 副担任) / 『優しい死神の飼い方』 知念 実希人

知念実希人の作品が好きで、文庫本をすべて集めています。そのきっかけとなったのが、「優しい死神の飼い方」です。

死後の魂が成仏できるよう、死神が犬(レオ)の姿になってホスピスの患者たちの未練を紐解いていくミステリーですが、タイトル通り「優しい」お話でした。シリーズ2作目の「黒猫の小夜曲」もおすすめです。3作目の「死神と天使の円舞曲」が文庫化されるのを楽しみに待っています。



門田 響平先生 (306 担任) / 『愛なき世界』 三浦 しをん

「植物には、脳も神経ありません。つまり、思考も感情もない。人間が言うところの、『愛』という概念がないのです。それでも旺盛に繁殖し、多様な形態を持ち、環境に適応して、地球のあちこちで生きている。不思議だと思いませんか？」(本文より)

料理に没頭する藤丸さんと、植物の研究に没頭する本村さんのお話。「知りたい！」という情熱を持つことの素晴らしさを教えてくれます。



鳥井 智恵先生 (306 副担任) / 『国境のない生き方：私をつくった本と旅』 ヤマザキマリ

この本は、『テルマエ・ロマエ』の作者であるヤマザキマリさんが自身の半生を振り返ったエッセイです。北海道の大自然と本に囲まれて育った幼少期。14歳で欧州を一人旅し、多様な文化や価値観に揉まれた17歳でのイタリア留学。子育てをしながら仕事をいくつも掛け持ったり、世界のあちこちを渡り歩いたり。山あり谷ありの人生を力強く生きていく姿がユーモアを交えて綴られています。とにかく一歩踏み出して、いろんなことを経験してみようという前向きな気持ちになれる一冊です。



内海 篤彦先生 (307 担任) / 『りんごかもしれない』 ヨシタケシンスケ

テーブルの上りんごがおいてあった。

・・・でも、もしかしたら、これはりんごじゃないかもしれない。  
「そうかもしれない」と考えることができるきっかけになる絵本かもしれない。



森下 富美子先生 (307 副担任) / 『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺 和子

就職や進学あるいは結婚、子育てをしていると、自分の本意ではなく、「こんなはずじゃなかった」と思うことが次から次へと出てきます。時間の使い方は、そのまま、命の使い方です。どんな状況に置かれても、その中で「咲く」努力をしてほしいと思います。



**先生方、ありがとうございました!!!!**

友だちや先生との出会いが一期一会であるように、本との出会いも一期一会です。これからも、たくさんのいい出会いがあり、みなさんの世界が広がりますように……。

